

各位

金蘭千里中学校

本校入学者選抜試験問題に関するお願い

昨今、教育現場における著作権の在り方が議論されています。本校も、著作権法に基づいた著作物の適切な運用と管理に取り組んでいます。

本校の入試問題の利用につきましても、下記の点にご留意いただき、適切なご利用をお願いいたします。

記

1. 本入試問題の著作権は、本校に帰属します。複製の作成は、事前に申告いただいた場合のみ許諾します。

2. 本入試問題で引用している文学作品等の第三者の著作物は、関係団体を通じて、引用の許諾申請を行っています。

以上

令和6年度中学入試

[前期A・E 入試]

国語科 問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2. この問題冊子は、表紙を含めて 20 ページあります。

試験中に、印刷がはつきりしなかったり、ページの乱れや抜け落ちに気づいたりした場

合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

3. 解答用紙は別に配布されます。解答はすべてその解答用紙に記入しなさい。

4. 問題冊子の余白等は下書きなどに利用してよろしいが、どのページも切り離してはいけません。

[前期A・E 入試] 受験番号 _____

金蘭千里中学校

字数制限のあるものは、すべて句読点や記号も一字に数える。

(1) 本文の主人公は高校二年生で、高校卒業後の進路を決められないでいる。以前から興味を持っていた菱刺し（青森県南部地方に伝わる刺しゅうの技法の一つ）の工房に通つて菱刺しを教わるようになつた。本文を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

「なした？」

より子さんに声をかけられた。

「間違えたど？」

手元を覗き込まれる。

見下ろすと、刺す目を間違えていた。菱刺しがひん曲がつている。

「あ。どうしよう」

「間違えたら糸つこ抜いて戻ればいいだけ。なあも難しいこたあねの」

より子さんがおつとりしたaクチヨウでフオローしてくれる。

「やり直せるんですか。よかつた」

取り返しのつかないことになつたかと焦つてしまつた。
教わりながら針の尻に縫い目を引っかけ、引き抜いていく。

初めてここに来てから一〇日がたつ。ほぼ毎日来ている。

田向井さんや石田さんと出くわすこともあるし、知らないおばさんや若い女性、おじさん、おじいさんがいることもある。こんにちは、と挨拶し合うと、あとは（A）刺す。

布目を数え一目一目刺していく作業は安らぐ。指が縦糸と横糸の凹凸を感じられるようになつてきて、（注1）コングレスも糸も愛おしくなる。

そして、何とか、この場の空気が、ふつくらと豊かに膨らんでいるのがいい。
くつろぎに満ちている。ここでは競争もないし誰かを出し抜こうなどということもないんだ。
失敗の始まりのところまで戻つて一段落すると、作業机でより子さんがやつていてるのを眺める。
親指で目を数えている。四、六、八、二……。針を刺して糸を引き抜く。その繰り返し。
安心してため息が出た。

糸を切り、ハサミを置く。音がしない。そういえば、眼鏡もそつと置いている。見ていると、物がテーブルについてから手を放していいる。

気になったことなどないけど——気になったことがないつてのがそもそも雑な証拠なのだろう、あたしはたぶん、途中で手を放してい

る。

見ているうちに自分のほうも進めたくなってきた。失敗した布目にモスグリーンの纖維がほやほやと絡まつてゐる目の、一つ手前の目に刺していく。

やり直した模様をなでる。糸のわずかな凹凸があたしへのなにがしかの返事のよう。

返事？ それならあたしは何か菱刺しに問い合わせたのだろうか。

思いつかないけれどこの返事は悪くない。これまで、物はただの物だつたけれど、一目一目時間をかけて刺した物は、ただの物じやなくなつてゐる。

家に帰つてからも刺している。SNSはしばらく見ていない。

(注2)『マーサのダイヤモンド』を見る頻度も減つた。マーサさんはあたしが菱刺しを始めたと知つたら喜んでくれるだろうか。

気になり、リュックを漁つてノートや教科書、蛇腹に押し潰された進路調査票をかき分けてスマホを取り出す。

少し考えて、

『菱刺しを始めました』

と、メッセージを打ち込む。

送信ボタンに指を近づける。

迷つた末に送信せずにメッセージを削除した。まだ、送つたメッセージの返事をもらつてないから。

下足箱からスニーカーを取り出して、コンクリートのたたきに置く。

「綾、なしたの」

賢吾の声に顔を上げると、①仰天したような顔をしている。

「なんのこと？」

「靴よ靴。いつもはブン投げてたじやない」

「そんなことしてないよ」

「しーてーたー、してましたー！ 靴、ひっくり返つてましたー！」

小学生のようにあたしを指す。そのまま「ちよつと男子い」といそうで怖い。

脱いだ上履きを下足箱に入れ、扉を押し閉めた。

またしても賢吾が②ぽかんと口を開ける。

あたしは眉を寄せる。

「なんのよ、さつきから」

「いつもはほら、バーンツて b ゲイキよく、うつぶん晴らしみたいに叩きつけてたじやない。扉が弾かれて開いたじやない。どうしちやつたのよあんた」

帰っていく生徒がチラチラ見る。どうかしちやつた人がどんな人なのか確かめたいのだろう。

「綾、最近何かやつてるでしょ。なにやつてんの」

「あたしにも帰りに寄るところができたつてことです」

「何それ。どこよ」

食いついてきた。

庭から爽やかな風がそよそよと吹き込んできている。

石田さんはベージュの麻のエプロンの胸元に「ひょうたん」という模様を刺している。菱形の枠の中に六角形の模様が收まり、さらにその中に授業で習った雪マークを横にしたような、アスタリスクのような模様が描かれている。が、よくよく見ると、確かに菱形が上下に重なっている。くびれのあるひょうたんである。

田向井さんは「柳の葉」という模様を刺している。ヨーロッパとかにある矢印形の案内板のような模様が上下に四枚セットで菱形の中に収まっている。布代わりにしている物が変わっている。穴がたくさん開いている手のひらに收まる長方形の物。メッシュで、白くて、薄くて、硬そうでもありやわらかそうでもある。

「それ、なんですか？」

「スマホカバーだよ」

「そんな物があるんですか？」

「そうなの。シリコン製でね。血眼になつて探したらネットにあつた。メッシュを布目に見立てて刺せるから、オリジナルカバーが作れるのよ」

菱刺し、何にでもなるなあ。仕事選ばないなあ。懐が深いなあ。

感心しているあたしの隣で、天井を仰いで眠りこけているのは賢吾。初めて来た場所で、こんなに開けっぴろげに寝姿を披露できるのは天賦の才と称えていいだろう。

そんな賢吾を前に、より子さんは「寝る子は育つ」と頼もしそうに見て、田向井さんはくすくすと笑い、石田さんは地球外生命体を見るような目を向けていた。

ここに賢吾が来た時、ちよつとしたやりとりがあつた。

より子さんが賢吾の名前を聞いて「賢坊」と呼んだら、すかさず「それ、嫌」と拒否した。

「ワタシ、男とか女とか分けられるのヤなの。常にニュートラルでいたいの」

こんな感じなので学校では、賢吾を嫌う人もいる。ただ、こいつは嫌われるのなんて屁でもないようなのだ。というか、嫌われてい

ることに気づいてさえいないのかもしれないし、そもそも人の好き嫌いについてもどうでもよさそうに見える。

より子さんに抗議^{こうぎ}したことでギヨツとしたのは田向井さんと石田さんで、あたしもそこそこヒヤリしたけど、学校でのこいつと同じなので、一方ではへ 1 ～した。そして、賢吾はどこでだつて賢吾であることをへ 2 ～もした。

より子さんの反応は「おやそうかい」とあつさりしたものだつた。

『坊』は男女兼用^{けんよう}よ

石田さんが賢吾に小さな声で教えると、賢吾は「そうなの？」と意外そうな顔をする。

「だつたら賢坊でもいいよ。ちなみに学校じやそのまま『栗生』か『賢吾』って呼ばれる」

「それはいかつた。んだら賢坊つて呼ぼうかね」と、より子さん。初対面の高校生にバッサリ否定されたら、無礼だとカチンとくるのが普通^{ふつう}だと思うが、（注3）フラットにこの件を受け入れたのである。

③言いたいことを言った賢吾は、この（B）した空気の中で菱刺しを眺めているうちにいつの間にか眠りに落ちたというわけだ。

間違えたところの糸を引き抜いていると、

「綾ちゃんば見てると、初心ば思い出すねえ」

と、より子さんが言った。あたしの手元を見つめてほほえんでいる。

「より子さんは何がきつかけで始めたんですか？」

「服のおつくろいだな。おはじきだのあやとりだと同じく、遊びのエンチヨウでやつたもんだ。友達集めてさ。私も最初は裏から刺すのが苦手での。布つこば持ち上げて覗き込んで刺したもんだ。別なこと考えながら刺して妙^{みょう}な形さなるのはしょっちゅうだつた。だども、何べんもやり直しできる。気楽に失敗できただんだ。家族の着物つこさ刺してせ、喜んでもらえるのは嬉しかつたねえ」

「へえ。着てくれましたか？」

「ん。上手でねかつたどもな。我だつて、子どもや孫が、我のために菱刺ししてければ、どんな物でも嬉しいもんだよ」

より子さんは、好物を食べたみたいな顔をして目を閉じた。

「アツパは擦^すり切れるまで着てけだもんで、我は大満足だつたし、友だちともおしゃべりしながら刺すのは本当に楽しかつたねえ」

アツパとは、母親のことらしい。父親のことはダダと呼んだそうだ。菱刺しは貧しく苦しい生活のせいでの、やむなく刺したというような仄暗^{ほのぐら}い印象があつたけど、こうして実際刺したり、より子さんの表情を目の当たりにしていると、④そればかりじやなかつたのかもしれないと思えてくる。

確かに、田向井さんは「おいしい物をずーっと食べてみたいような感じ」とたとえていた。それはある。加えて、菱刺しは単なる針仕事つてわけじやない。家族や大切な人に温かな着物を着せたい。どうせなら色や柄^{がら}を楽しみたい。そういう想^{おも}いがある。だからか。だから菱刺しをやつている間じゅう、満たされているのか。それなのに。

お父さん、パワハラ——。
ガツチガチの頭してると——。

いつも通り表情はほぼ動かなかつた。だからこそ、うろたえているのが透けて見えてしまつた。

父と似てゐる指先を見る。針で突いた時の痛みを覚えている。

何も知らない癖に、あたしは頭に浮かんだ言葉をそのまま吐いたのだ。スマホの予測変換で出てきた言葉をろくに意味も分からずにそれらしいからとdバンシャテキに使うみたいに。あたしはスマホじやなく、人間のはずなのに。父がどう思うかなんて考えちやいなかつた。

とはいへ、改めて謝るのもなあ。他人相手ならできることが、親だとなぜか難しくなる。

視線をさまよわせたあたしの目を引き寄せたのは——。

「より子さん、そこに飾つてあるような財布とかバッグのような目の細かい布に刺す方法を教えてください」

コングレスを、本来刺したい生地にあてがつてその上から一緒に刺す方法を教わつた。

要するに目の粗い布を目印にするのだ。

刺し終わつたらコングレスの糸を切つて一本一本引き抜くと、生地に菱刺しが残るという寸法だ。

ワンポイントの模様はその夜のうちにできあがつた。

ハサミを置くと、ゴツツと大きな音が出た。静かで慎み深い菱刺しの時間がぶつりと断ち切られる。

改めて持ち上げて、ハサミが机の上にのつてから手を放してみる。音はせず、時間はつながり、余韻が残つた。

あたしは通学用のリュックを引き寄せ、進路調査票を取り出した。テーブルの上の菱刺しの道具を脇に寄せ、調査票の折り目を丁寧に伸ばす。

翌朝。

「お父さん、これ」

洗面所で出勤準備をしている父に、昨夜完成させた菱刺しを施したネクタイを渡す。

父は鉄製であるかのような堅牢な眼鏡を押し上げて、（C）ネクタイを見た。相変わらず鉄壁の無表情だ。

「気に入らなかつたら、無理にしてかなくていいから。それから、あたし、八戸の工業大学で伝統デザイン勉強しようと思う。進路調査票にはそう書くつもり」

宣言すると、洗面所を出た。

父は締めてくれるような気がした。残念なことに、あたしと父は似てゐるから、あたしの前では一生締めないだろうけど。

藍色のネクタイに刺した模様は、（注5）海のべこだ。ネクタイの剣先に刺した。淡い水色の亀甲模様とくすんだピンク色のべこの鞍。

かわいい。マーサさんの見本ではシックに見えたが、色遣いによつてポップにもなるらしい。新発見だ。模様と色の組み合わせは無限だから、この菱刺しという物、一生飽きずに続けられそう。

厄介な上司はきっとネクタイに気づくだろう。揚げ足を取るような人なら見逃すはずがない。父とのギャップに驚き、話を振るだろう。笑うかもしれない。

娘はできることはしました。あとはお父さん次第です。

結果を言えば、帰宅した父はスーツのまま、背筋を伸ばし無表情であたしと母の前を無意味に往復した。寝室に行つたあと、あたしと母は顔を見合させ、ほくそ笑んだ。

「八戸の大学？ なーんだ、一緒に盛岡の専門行こうと思つてたのに」と、賢吾が口を尖らせる。

「あんなにもたもたしてたのに急に決めちやつて」

「将来、監獄みたいな会社に入るにしろ、フリーランスになるにしろ、支えができたからね。なんだかできそうな気がしたんだ」

「ふうん。それにそれ」

あたしが貼つたポスターを指す。手製の「菱刺し部員募集」のポスター。三階廊下の掲示板から順に貼ってきて、今一階。

あたしはポスターを指してから、その指を賢吾に向ける。

「まずは一人」

「ワタシ？」

「やるでしょ？ 家庭科部に入つてるくらいなんだからこつちにも顔貸してよ。三人集まんないと、部として申請できなんだから」

「綾がこんなことするなんて、どういう風のぶん回し？」

不信感いっぱいな顔を作る⑤も、おもしろがつているのが透けてしまつている。

「吹いてる風向きが変わつた。それだけよ」

この学校が廃校になろうと知つたこつちやなくて、何でおとながソソンゾクさせようとしているのか理解できなかつたけれど、菱刺しをやるようになつた今は分かる。

「あんたが言つてた、『劇的なこと』でも起こつたの？」

「劇的なこと。うーん。……強いて挙げれば、菱刺し工房に行つたことかな。でもそれは、自分の足で行つたから『へ 3 ヘ』つて言わないかも」

賢吾がバツンとリュックごとあたしの背を張つた。

「あんたが珍しく、自分でヘ 4 ヘつてことか。やつたじやないの、おめでとう！」

「公民館により子さんの菱刺しを見てなかつたら動かなかつたよ」

「よりちやんは魔女よ。公民館に罠をしかけといて、あんたを（D）魔女の家に誘い込んだんだ」

「魔女の家じやなくて平屋の古民家だよ。てか、よりちやんなんて気軽に呼んで。殴られろ」

「あんたそれ、次は赤に染めるとか言わないよね」

「それいい！信号みたいじゃない」

「赤の次はどうすんの？」

「青に決まってるでしょっ」

家庭科室へ向かう賢吾と別れて、正面玄関を出る。五月の放課後らしい空だ。あつけらかんと晴れて、高い。

瑞々しい風が吹き上がり、木の葉を一気に舞い上げる。あたしまで浮き上がりそう。

ポケットでスマホが震えた。

取り出してみると通知はない。気のせいだったようだ。

久しぶりにブログにアクセスする。

あたしが六年前に送った、

『お元気ですか？』

というメッセージは、読まれたのか読まれてないのかすら不明。返事はまだない。

ポケットからハンカチを取り出す。生成りのハンカチにも海のベこのワンポイントを刺した。

キンツと金属音が、響き渡る。

グラウンドで、野球部員がワーッと盛り上がった。（注6）ダイヤモンドを全力疾走している。かれ彼の周りの景色が混じり合つて尾を引く。

（E）口を開け、空を見上げている部員もいる。

白い球が高く伸びていく。

スマホを撮影モードに切り替え、青い空に掲げ、どんどん上がっていく白い球に海のベコを添える。

撮った画像をブログのメッセージ欄に添付する。菱刺し始めました、という文言がなくたつて一発で分かるだろう。

⑥送信。

それから手を丸めて作った穴を覗いた。白い球はもう追えない。

穴から見える空は、予想外に広かつた。

（高森美由紀『藍色ちくちく 魔女の菱刺し工房』より 一部改めたところがある）

(注1) コングレス……刺しゅうに用いる布。

(注2) 『マーサのダイヤモンド』……「マーサ」と名乗る女性のブログ名で、菱刺しをテーマにしており、主人公が菱刺しに興味を持つきっかけとなつた。主人公は六年前までブログのメッセージで「マーサ」とやりとりをしていた。

(注3) フラット……平らなこと。起伏がないこと。ここでは、感情の起伏がないこと。

(注4) あの時……菱刺し工房に通い始めたことを知り、「進路は決まったのか」と言つた父親に、理解してくれないと想い「ガツチガチの頭」だと言つてしまつた時のこと。

(注5) 海のべ……刺しゅうの模様を表す。「べ」は牛のこと。

(注6) ダイヤモンド……野球で、ホームベース、ファースト、セカンド、サードの四つのベースを結んだ四角形。内野とも呼ばれる。

(一) 本文中の波線部 a ~ e のカタカナを漢字に改めなさい。

a クチヨウ b ケイキ c エンチヨウ d ハンシャテキ e ソンゾク

(二) 傍線部①「仰天したような顔をしている」・②「ぽかんと口を開ける」とあるがどうしてか、それを説明した次の文の(X)・(Y)にそれぞれ入る漢字一字の言葉を本文中から探して答えなさい。

【今までには、スニーカーを投げたり下足箱の扉を叩きつけたりして、行動が(X)であつたのに、(Y)を丁寧に扱つてゐるから。】

(三) 本文中のへ 1 ～・へ 2 ～に入る言葉の組み合わせを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 安心・尊敬 イ 心配・落胆 ウ 安堵・卑下 エ 絶望・賞賛

(四) 本文中の(A)～(E)に入る言葉を次のア～カの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア ゆるゆると イ 刻々と ウ あんぐりと エ 黙々と オ まんまと カ まじまじと

(五) 傍線部③「言いたいこと」とあるが、賢吾の「言いたいこと」が書かれた箇所を本文中から探し、最後の三字を抜き出して答えなさい。

(六) 傍線部④「そればかりじやなかつたのかもしけないと思えてくる」とあるが、どういうことに気づいたのか。それを説明した次の文の空欄に入る言葉を八十字以内で答えなさい。

【菱刺しには仄暗い印象があつたが、（　）ものだということに気づいた。】

（七）傍線部⑤「も」と同じ意味で使われているものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 努力するも成果は上がらなかつた。
イ 思いもよらないできごとだつた。
ウ 疑わしいことは何もない。
エ そろいもそろつてできないのか。

(八) 本文中のへ3～・へ4～にそれぞれ入る四字の言葉を、へ3～は本文から抜き出して、へ4～は自分で考えて答えなさい。

(九) 傍線部⑥「送信」とあるが、この時の「あたし」の気持ちとしてもつとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア マーサさんからの返事が長い間ないので、待つことをやめてマーサさんのことは忘れて一途に自分の道を歩んでいこうと決心し、最後にそのことをマーサさんに伝えておこうという、さっぱりとした明るい気持ち。
イ マーサさんからの返事がないので、自分のことをどのように思われているのか気になつて送信できずにいたが、勇気をふりしほつて再度送信し、マーサさんの気持ちを確かめようという、きつぱりとした潔い気持ち。
ウ 自分のことは忘れられているかもしれないが、マーサさんの身に何かあつたのかと心配で、菱刺しを始めたという近況報告をよそおつて連絡し、なんとかしてマーサさんの様子を知ろうとする、積極的で前向きな気持ち。
エ 自分で進路を決めることができたことで、マーサさんがメッセージを読んだかどうかや返事があるかどうかなどに関わらず、菱刺しを始めたことをはつきりと宣言したいという、自信に満ちた晴れやかな気持ち。

②次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

東京から「こだま号」に乗つて大阪方面に向かうと1時間もたたずに三島という駅に停車する。三島は温泉で有名な修善寺などを（注1）擁する伊豆半島の玄関口であるほか、三嶋大社という由緒正しい神社がある。地学的に言つて、この町の特徴はきれいな水が豊富に湧きだすということであろう。名物はウナギだつたりする。ウナギは三島ではなく浜名湖などで育つたのだろうが、三島のうなぎ屋さんに来てからきれいな水の中でしばらく飼うことで泥臭さがとれるのだそうだ。¹うなぎ屋は水が命らしい。また、三島駅のすぐ南には、湧きだしたきれいな水を池に引いて作られた樂寿園という庭園がある。地下水のaサイシユが大規模に行われるようになつたため、樂寿園の池は涸れている時期が多くなつてゐるのが残念なことだが、満水になるとなかなか見事である。

さて、こうした湧き水は富士山から流れてきた溶岩流である、その名も三島溶岩の中を流れてきた地下水である。一般に溶岩は亀裂が豊富で、水を通しやすい。このため火山の周辺の地下水が、溶岩流の中を通つてくるのはよくあることだ。三島のきれいで豊富な水は三島溶岩のおかげなのだ。実際、樂寿園は三島溶岩の末端、つまり火口から流れてきて一番遠くに達したところにある。樂寿園をふくめて、三島の湧き水は三島溶岩の末端から湧出してきたものが多い。

しかし、三島に三島溶岩があるということは、その昔、この一帯は熱くてドロドロと流れてきた溶岩流で覆われたということだ。考えてみれば恐ろしい話だ。三島溶岩は約1万年前に噴出したが、それははるか昔の話なので、今は心配しなくてもよいといふことなのだろうか。それとも将来、三島駅やその南に拡がる三島市中心街が溶岩流に埋められる可能性はあるのだろうか。こうした疑問にこたえるべく作成されているのが、火山ハザードマップである。

ハザードマップは、火山以外にも津波や洪水などを想定したもののが全国で作られている。最近は地球温暖化の影響なのか、局地的な大雨が非常に多く、テレビやラジオ、インターネットでハザードマップを確認しましよう、みたいな呼びかけが多くされるようになつた。だから、ハザードマップがどんなものなのか、bケントウもつかないという人はあまりいないと思う。しかし、ハザードマップが世間に広く知られるようになつたのは21世紀に入つてから。毎日のようにマスコミで使われるようになつたのはここ10年くらいのことだ。

ハザードマップは防災対策の一環として作られるわけだが、私が就職した1990年代後半はまだ、防災対策をおおっぴらに推進すること自体が嫌われるような有様の地域が、日本のあちこちで多数残つていた。防災対策をするとおおっぴらに言つたら、そこが危険だと宣言しているようなものだと、災害が近い将来おきると勘違いされて観光客が少なくなつたり、土地の値段が下がつたりするのではないかと思われていたからだ。今から思うと信じられないが、ほんの少し前までそんな世の中だつたのだ。

②そんな世間の風向きが大きく変わつたのは、火山の場合、なんと言つても2000年の有珠山噴火が契機だらうと思う。有珠山は北海道にあるが、北海道はちょっと特殊なところがある。まず、北海道は比較的大きい規模の噴火が歴史上何回も発生している。だから北海道民は噴火が他人事とはあまり思つていなかつたし、噴火に備える心構えが、ほかの地域よりは出来ていた。そして、地元の北海道大学では、活発な北海道の火山を一手に引きうけて研究や観測を行つてきた。加えて、火山のふもとの市町村長や防災担当者と、北海道大学の火山の先生との関係が割と密接だつた。そのようなわけで、日本で初めての火山ハザードマップは、1983年、北海道駒ヶ岳という火山のある

地元自治体の依頼で北海道大学の先生が協力して作られた。

北海道ではその後、火山ハザードマップが次々と作られるようになつたが、その効果が發揮されたのは2000年の有珠山噴火だ。火山ハザードマップで噴火の時にどのような現象が起きて、どういった地域に被害が及ぶかが示されていて、行政も住民も、噴火がどういうものかを知つていたし、避難すべき場所はどこかもわかつていていた。こうした理解があるのとないのとでは、雲泥の差だ。災害現場というのはどこもいそがしく、いろいろな問題が同時多発的におきるからだ。

私も2015年の箱根山噴火を経験したが、噴火となると役所には、一般住民から国会議員、噴火に関係がある気象庁からあんまり関係がなさそうな国の役所、などなどあらゆるところから、正確なものから不正確なもの、常識的なものから非常識なもの、ささやかなものから声が大きいものなどなど、とんでもなく多様な情報提供、依頼、指示、問い合わせが一日中ガンガン入つてくる。それにひとつひとつ対応していくのが精一杯で、とてもゆっくり考えているような時間はない。住民が何百人、何千人の単位で避難をするような事態になつたら③な_③おさら_④だらう。だから、噴火が起きそうになつたり、実際に噴火が発生してしまつてから、火山の説明をして住民に理解してもらうなんて悠長な時間はないのだ。

有珠山の2000年噴火では、ハザードマップが事前に避難_cタ_iイシヨウ地域と避難先を示していた。このため、噴火の可能性が高くなつた段階で、火山周辺の地域から人が避難をはじめることが出来た。そして、噴火時には火口の周辺にほとんど人がおらず、犠牲者を出さずにするんだ。

2000年の有珠山噴火の成功例を見て、火山ハザードマップを事前に整備しておくことは、噴火になつた時のことと思うと必要だという実感が、日本全国に拡がつていった。この頃から、災害対策を行うことは、そこが危ないと言つてはいるというわけではなく、危ないところを把握して対策を行つてはいるので、何もしていないところより安全なのだという前向きな捉え方がされるようになつてきたようだ。

北海道は④先進地_dだという話をしたが、日本政府も無駄に時を過ごしてはいたわけではない。政府は、1986年の伊豆大島噴火を契機として、火山ハザードマップ作成の検討会を設置して、いくつかの火山を選んでモデルとなるハザードマップの作成をすすめた。実は、そのモデルとして富士山も選ばれていたが、富士山だけがハザードマップの完成に至らず終わつた。その事情を、私はよく知らないが、その理由は、やはり少しばかり時代を先取りしすぎたというところがあるのだろう。なにしろ、時代的に防災対策自体が後ろ向きの頃だ。富士山は巨大で、5合目以上だけで7市町が関係しているが、これだけ多いとハザードマップづくりを嫌がる市町があつたりして足並みが揃わなかつたのかもしれない。

そんな富士山では21世紀になると同時に、突然_e、ハザードマップを作る方向で、話が進むようになつた。有珠山の成功例を見ていたこともあるが、⑤富士山固有の事情_fもあつた。富士山で、深部低周波地震_gという特殊な地震が2000年から2001年にかけて急増したのが観測されたのである。

深部低周波地震は、はつきりとした定義があるわけではないが、通常の地震があまり発生しないような深いところで発生し、周期1秒以上のゆっくりとした揺れを示すような地震のことをいう。深部低周波地震がなぜ発生するのかは、実はよくわかつていない。しかし、多くの火山学者や地震学者は、流体と言つて地下のマグマや水、ガスが移動するときに発生すると考えている。ちなみに、深部低周波地震は発

生場所が深い上に地震の規模が大きくないので、人間が感じることはまずない。

富士山で深部低周波地震が発生するのは、要するにマグマか火山ガスのようなものが地下で移動をしていることを示しているが、普段はそんなに多くなかった。しかしその急増は火山学者や地元自治体、政府に少なからぬ衝撃を与えた。富士山は1707年の噴火以来、長いことお休みをしていると思つていたら、地下ではマグマか火山ガスがとても活発に活動することがある、つまり火山として地下では活発に活動をしていることが、明々白々となつたのである。それまでは、噴火なんか想像もつかない、そんな状態でハザードマップを作つて意味あるのか、みたいなdシンキョウだったのが、このことで突然、将来は確実に噴火をする、だからちゃんと備えておこう、という前向きな気持ちに変わつたのだ。

気分が変わつて、方向が決まれば動きが早いのは日本のお役所である。深部低周波地震が観測された翌年の2001年7月には早くも、国や富士山に関係する自治体が集まつて、富士山火山防災協議会といふ組織が設置されるとともに、⑥富士山ハザードマップ検討委員会という専門家や防災関係者によるハザードマップを作る委員会が設けられた。普通、ハザードマップを作るのは地元自治体や、国の出先機関が多い。しかし、富士山のハザードマップ作成にあたつては、内閣府といふ中央省庁が主導をした。また、他の火山ではハザードマップを作る段になつて、あらたに地質調査をやり直すことはまずなくて、既存の研究論文を参考にすることがほとんどだ。ところが、富士山のハザードマップ作成にあたつては、改めて大々的に地質調査が行われて、過去数千年間の噴火記録が調べ直された。こうして、2004年に富士山で初めての火山ハザードマップが完成した。北海道駒ヶ岳に遅れること24年。しかし、日本の火山学者や政府関係者が持てる力を出し切つて、富士山のハザードマップが堂々の完成をみたのである。

(萬年一剛『富士山はいつ噴火するのか?—火山の仕組みとその不思議』より 一部改めたところがある)

(注1) 擁する……所有する。

(一) 波線部 a～d のカタカナを漢字に直しなさい。

a サイシユ b ケントウ c タイショウ d シンキョウ

(二) 傍線部 ① 「うなぎ屋は水が命」とあるが、ここで言う「命」とはどういう意味か。もつとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 運命 イ 生涯 ウ 寿命 エ 生命 オ 大切

(三) 傍線部②「そんな世間の風向きが大きく変わった」とあるが、なにがきっかけで、どのように変わったのか。それを説明した次の文の空欄に入る言葉を九十字以内で答えなさい。

【ハザードマップを含む防災対策は、その地域が危険だと言っているようなものなので、対策の推進自体が嫌われていたが、()。】

(四) 傍線部③「なおさらだらう」とあるが、どういうことか。それを説明した次の文の空欄に入る言葉を、それぞれ指定された字数で、本文中から抜き出しなさい。

【火山の噴火によつて、たくさんのお住民が避難するようになつたら、(A 二字) は、いろんなところから寄せられる

(五) 傍線部④「先進地」とあるが、ここでは何について「先進地」と言つてゐるのか。もつとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 火山の噴火 イ 地震 ウ 日本政府 エ ハザードマップ

(六) 傍線部⑤「富士山固有の事情」とあるが、その説明として、もつとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 富士山において、はつきりした定義もなく、なぜ発生するのかも実はよく分かつていないが、人間に大きな影響を与える深部低周波地震が観測され、人々がちゃんと備えておこうという気持ちになつたこと。

イ 富士山は巨大で、5合目以上だけで7市町が関係しているうえ、時代的にも防災対策に後ろ向きで、ハザードマップづくりを嫌がる市町があり、足並みがそろわなかつたこと。

ウ 富士山ではこれまで、地下のマグマや水やガス、つまり流体が移動する現象が確認されたことはなかつたのに、2000年から2

001年にかけてその現象が急増したのが観測され、政府などに衝撃を与えたこと。
エ 富士山で、マグマか火山ガスのようなものが地下で移動していること、つまり富士山が将来は確実に噴火をする、ということを示す深部低周波地震が急増したのが確認されたこと。

(七) 傍線部⑥「富士山ハザードマップ」とあるが、これについてあとの i・ii に答えなさい。

i 「富士山ハザードマップ」が完成したのはいつのことか。もつとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 1707年 イ 1986年 ウ 2001年 エ 2004年

ii

「富士山ハザードマップ」が普通と異なるのはどういう点か。適切なものを次のア～カの中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 既存の研究論文を調査し、参考にした点
イ 地元自治体によるハザードマップを作る委員会が設けられた点
ウ 将来のために備えておこうと、前向きな気持ちで作成された点
エ 地質やこれまでの記録の調査を新たに、大規模に行つた点
オ 内閣府という中央省庁が主導をした点
カ 他の都道府県とは完成が大幅に遅れてしまつた点

③ 次の文章と資料を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

〈資料 I〉『17才のための動物的戦略ガイド』「はじめに」「目次」

はじめに

「はじめに」こんなことを書くのもなんですが、本書の結論は、「仲間を作ることが大事」「自分の個性を伸ばしていくことが大事」「自分をとりまく環境・状況を知ることが大事」この3つです。見てわかるとおり、ごく一般的なことですし、同じような内容が書かれた本は他にもたくさんあります。【中略】

地球上で最強の頭脳を持ち、驚くべき文明を築いた人類が、それも世界の中でも類を見ないほど安全で平和な生活を手にいれたはずの現代日本の若者が、「どうやって生きたらいいのかわからない！」と悩んでいる現状があります。これは自然界においてある種の異常事態だと言えるでしょう。

現代社会は多様化・複雑化が進み、技術革新のスピードは一層速くなり、人々の価値観も日々変容しています。そんな世の中ですから「何を信じていいかわからない」と不安になるのは当然です。そんな人にこそ、独自の生存戦略を身に付けた動物達から「生き方」を学んでほしいのです。なにせ毎日がサバイバルのかれらは、文字通り死活問題をくぐり抜ける「生存のプロ」です。ある意味現代社会よりも過酷で予測不能な自然界の中で生き抜く方法を動物達から学び、考え、我々の実生活にいかしていくことができれば、たとえこの先どんな未来がやってこようと戦略的に生きていくことができます。「学ぶ」「考える」ということは人類に与えられた最高で最強の才能です。本書が1人でも多くの方の学びと思考のガイドブックになれたら幸いです。

目次

第1章 人類と動物の進化の歴史

ガイド1 「生きるために進化を続けた動物たち」

ガイド2 「長い歴史の中で身に付けた生存戦略」

ガイド3 「日本の高校生の一日／サバンナの動物の一日」

第2章 ライオン的生存戦略

ガイド4 「“百獸の王”はウソ！？ライオンは実は弱い！？」

ガイド5 「チームワークで自分よりも強い敵を倒す、最強の狩猟テクニック」

ガイド6 「動物的生存戦略実践編 Aさんの場合～フリーターから社長へ、ひとりぼっちで無力だった僕を変えた絆の力～」

第3章 キリン的生存戦略

ガイド7 「長い首は努力の証！？生きるために“高み”を目指し続けた結果」

ガイド8 「高所では敵なし！唯一無二の武器」

ガイド9 「動物的生存戦略実践編 Bさんの場合～“上手な絵”が描けなかった私は“自分にしか描けない絵”を引き続けた～」

第4章 コアラ的生存戦略

ガイド10 「かわいいだけじゃない！？意外と図太いツメと雄たけび」

ガイド11 「なぜコアラは木の上でばかり過ごすのか？」

ガイド12 「動物的生存戦略実践編 Cさんの場合～田んぼだらけの駅前にできたコンビニが、売上げ日本一になった理由～」

〈資料II〉『17才のための動物的戦略ガイド』「第4章ガイド11」の文章

第4章ガイド11「なぜコアラは木の上でばかり過ごすのか？」

【前略】筋骨隆々のカンガルーや狂暴なタスマニアンデビルなど、コアラの生存をおびやかす敵がオーストラリアにはたくさんいます。かれらと戦うためにツメを強化すること（※キリン的戦略）や、群れをつくって作戦を立てること（※ライオン的戦略）もできたのかもしれません、進化の歴史の中でコアラはそれらの戦略を選びませんでした。コアラがとった戦略はただ一つ。主食をユーカリの葉にすることだったのです。

ユーカリの葉は非常に消化しにくく、種類によっては毒性もあるため野生動物がわざわざユーカリの葉を食べるということはまずありません（実際キリンは口が届くにも関わらずユーカリには一切見向きもしません）。つまり、コアラ〔 Q 〕は存在しないのです。その意味ではコアラに敵はいない、まさに無敵の状態というわけです。ただ、毒を食べてコアラは平気なのかというと実は全然平気ではありません。コアラはユーカリを食べ、その消化と解毒のためほぼ一日中木の上でじっとして過ごすことを余儀なくされます。結果的にユーカリの葉に隠れて敵にも見つからず食料も独占状態のため戦わず安全に過ごしている、というわけです。

みなさんにとってあまりまねしたい生き方ではないかもしれません、コアラは戦いに不向きな自分の特性と自分を取り巻く敵の習性・植物の生態をよく知っていたと言えます。戦わなければ勝つことはありませんが、負けることも絶対ありません。戦わず、そもそもライバルのいない状況を自ら作るという、“不敗”“無敵”的生存戦略。それこそが「コアラ的生存戦略」です。

〈資料III〉現代日本社会に生きる17才からの悩み相談文

『ぼくは銀蘭高校2年A組の文化祭委員です。文化祭の出し物についてクラスで話し合った結果、ぼくのクラスはたこ焼き屋をすることに決まりました。しかし、高2学年全5クラスの内、ぼくのクラスをふくめた3クラスがたこ焼き屋をすることがわかりました。ぼくのクラスメイトはみんな、「A組を人気の飲食店にしたい」という意欲に燃えています。みんなの希望をかなえるために、どうしたら良いでしょうか。ちなみに残りのD組はクレープ屋、E組は演劇発表をするそうです。』

(一) 〈資料II〉の空欄 [Q]に入る言葉として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア とエサを取り合う敵
- イ を食べようとする敵
- ウ のこどもをうばおうとする敵
- エ のなわばかりに入ってくる敵

(二) 〈資料II〉で述べられている「コアラ的戦略」を仕事に生かす際の具体例として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア だれよりも率先して一番早く仕事をすること。
- イ だれもやりたがらない仕事をあえて選ぶこと。
- ウ だれよりも多くの仕事を完璧にこなすこと。
- エ だれかと仲間になり協力して仕事をすること。

(三) 〈資料II〉で著者が伝えたいことを説明したものとして、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 考えすぎて悩んでしまう人は動物的直感にしたがって挑戦することが大事である。
- イ 戦いに備えるよりも戦う前にライバルをやっつける戦略を立てることが大事である。
- ウ 自分自身や周囲の環境をよく知り考えて行動すれば、どんな世の中でも生きていける。
- エ 「生きていけない」と1人で悩むより、仲間と一緒に過ごす方が楽しく生きていける。

(四) 〈資料III〉の相談文へのアドバイスとして、次の①～④のうち「ライオン的戦略」に基づいたものにはアを、「キリン的戦略」に基づいたものにはイを、「コアラ的戦略」に基づいたものにはウを、いずれにも当てはまらないものにはエをそれぞれ記入しなさい。

- ① B組・C組と協力関係になり、おたがいの店の宣伝活動をしよう。
- ② B組にたこ焼き屋をやめて、クレープ屋をするよう強く説得しよう。
- ③ A組はたこやき屋をやめて、お茶やコーヒーなどの飲み物を売る店にしよう。
- ④ 他のクラスにまねできないような、A組オリジナルのたこ焼きを考案して売ろう。

①

(四)	(七)	(六)			(五)	(四)	(三)			(二)	(一)	(九)	(七)	(六)			(五)	(四)	(三)	(二)	(一)		
①		A									a							A		X	a		
②	(三)	B									b							B	Y		b		
③		S									c							C			c		
④		i									d							D			d		
		ii																E			e		
得点																							
受験番号																							

②

(四)	(二)	(一)	(五)	(四)	(三)			(二)	(一)	(九)	(七)	(六)			(五)	(四)	(三)	(二)	(一)				
①																							
②	(三)																						
③																							
④																							
得点																							
受験番号																							

③

得点	
受験番号	

なものなので、対策の推進 자체が嫌われていたが、ハザードマップを含む防災対策は、その地域が危険だと言っているよう

【解答】

① (50点)

(一) a 口調	b 景気	c 延長	d 反射的
(二) X 雜物	Y 物		
(三) ア			
(四) A エ	B ア	C カ	D オ
(五) たいの		E ウ	

(六) 喜んでくれる親しい人のために温かな着物を着せたり、
色や柄を楽しんだりしたいという想いで、時には友だち
と話しながら刺すような、満たされた気持ちになる(七十三字)

(七) ア
(八) エ 3 起こつた 4 起こした
(九) エ

② (50点)

(一) a 採取	b 見当	c 対象	d 心境
(二) オ			

(三) 有珠山における防災対策の成功例がきっかけで、災害対策を行うことは、

危ないところを把握して対策を行っているので、何もしていないところ

より安全だと思われるようになつた(八十一字)

(四) A 役所 B とんでもう合わせ

(五) エ
(六) エ
(七) i エ
ii エ オ

③ (20点)

(一) ア
(二) エ
(三) イ
(四) ウ
① ア
② エ
③ ウ
④ イ

③ ③ ③ ②
③ × 4

④ ④ ⑤ ④ ③ ⑫
④ × 2 ③ × 2

③ ②
③ × 4

④ ② ④ ⑩
④ × 2

④ ⑥ ④ ②
④ × 5
⑥ (完答)